

## 社会科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校  
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成25年11月〇日 (〇)
  - 2 学年・組 第6学年〇組
  - 3 単元 「長く続いた戦争と暮らし」
  - 4 単元について
- (教材について)

日本では、長引く不景気からの回復と満州の権益確保を唱える声が大きくなり、1931年の満州事変をきっかけに満州を占領し、中国から切り離して満州国として独立させた。実際には、満州国は日本の傀儡政権であり、実権は日本軍がにぎっていた。やがてこの争いは、日中戦争として中国全土へ広がり、中国の長年にわたる抵抗運動を引き起こす。その頃世界では、1939年ヒトラー率いるナチスドイツがポーランドに侵入し、これに反対する勢力とのヨーロッパ全体を巻き込んだ戦争が行われ始めていた。日本でも、石油などの資源を求めて東南アジアに進出し、ドイツやイタリアと軍事同盟を結ぶと、アメリカやイギリスと対立を深めた。1941年、日本はハワイ真珠湾を奇襲攻撃し、太平洋戦争が始まった。日本は、当初有利に戦争を進めたが、敗戦が続くようになると次第に支配地域を減らし、本土への空襲が激化、沖縄上陸・占領、広島・長崎への原子爆弾投下を経て、1945年8月15日、ポツダム宣言を受諾し、日本は無条件降伏することとなった。ここに戦争は終結されることになるが、国内・国外、戦闘員・非戦闘員を問わず、その被害は大きかった。

当時の人々は、戦争が最優先事項であり、食料や物資が不足するようになると、配給制が導入され、満足な食事をとることもできなくなった。男性が戦地へ送られると、次第に労働力も不足し、女性や学生が労働力として活躍するようになる。学校生活も、建物疎開や軍事教練が中心となり、空襲が激しくなっただけからは、小学校高学年を中心に地方へ集団疎開が行われた。特に、精神的な制限が大きく、戦闘に負けたことや、軍の方針に口を出すことが許される状況ではなかった。また、戦争の状況が国民に細かに伝えられることはなく、ただ戦争に勝つことだけを考えた生活を強いられていたのである。

本単元は、現代日本の平和主義につながる単元である。この暗く悲しい経験と戦後の平和主義をつなげて考える単元である。解釈の分かれる問題や価値観の対立する問題も多数存在するが、逆にそれをふまえることによって、起こったことをできるだけ多くの視点から理解したり、広い視野に立って理解したりすることができる単元であるとも言える。また、自由に自分の意思を表現できる現代との違いから、当時の問題点を考え、これからの社会をどのように生きていくか示唆を得ることができるものとする。

- (子どもの実態について)

本学級の児童は、歴史学習において、「なぜ」という疑問に対して意欲的に資料を調べ、解答を見つけようとして取り組んでいる。しかし、歴史的事象の意味を考えたり、事象同士を結び付けて考えたりすることには、苦手の児童が多い。まして、事象を多面的に見て客観的に理解するには至っていない。また、人物の業績や文化遺産に興味を示し意欲的に学習する児童と、歴史の楽しさや面白さを感じることができず苦手意識をもっている児童の大きく二つに分かれる。意欲的な児童にも、意欲的でない児童にも共通して言えるのは、歴史的事象が今日につながっていることを理解したり、今日的な課題を解決する手段の一つと考えたりしている児童がほとんどいないことである。

本単元で扱う第二次世界大戦の頃については、原子爆弾の投下と、それに伴って多くの市民が犠牲になったことには深い理解がある。日本がアジア諸国に戦線を拡大していったことにも多少の知識がある。しかし、そうなった背景や、それによってどのような影響があったのかまでは結び付けて考えることができていない。さらに、児童の中には、この時代に対して恐怖心や嫌悪感を抱いている児童も見られ、学習することから目を背けてしまうことも予想される。

- (指導にあたって)

本単元は、淡々と戦争の内容を教えることに終始してしまい、自分と切り離してとらえる学習になりがちである。児童の受け取り方によっては、被害者意識やアジア各国への加害者意識のどちらかへ偏ってしまうことも考えられる。大切なのは、日中戦争から太平洋戦争までを様々な立場から理解しておくことと、学習を通して得たものをこれからの学習や生活に生かし、積極的に社会に参画していこうとする姿勢を養うことだと考えている。

そこで、指導にあたっては、日系人を中心に上げたい。長く続いた戦争は、国外に暮らす日本人にも暗

い影を落とした。アメリカに暮らす日系人は、太平洋戦争の開戦によって、社会的な非難の目にさらされ、スパイ容疑による拘束や土地の没収にあい、劣悪な環境の強制収容所に収容されることになった（ハワイでは、一部の指導者の収容に限られた）。これは、多人種多民族国家のアメリカにあって特別なことで、ドイツやイタリア系移民には行われず、人種差別の色彩が濃いとされている。これに対して日系人は、ハワイ日系人2世を中心としたアメリカ陸軍第100部隊や、本土の日系人2世を加えた第442連隊に積極的に参加するのである。そして、これらの部隊が多数の死傷者を出しながらも活躍したことによって、日系人は社会的地位を再び取り戻し、高めていくのである。しかし、父母の祖国と戦うことや兄弟が敵味方に分かれて戦わざるを得なかったのは、大きな精神的苦痛となった。

アメリカの日系人を取り上げる理由の一つ目は、彼らが、第二次世界大戦の際に祖国と戦うという苦難を抱えた者として、社会にどのように関わっていくかという示唆を得ることができるからである。そして、それに耐え、それを克服するために必死に生きていく。ここに、社会に参画する姿勢が見て取れる。

アメリカの日系人を取り上げる二つ目の理由は、日系人の苦悩と苦難の背景になっている戦争や国家の問題点を学ぶことができる点にある。現代においても、正義や秩序の名のもとに、国家が個人の自由や権利を制限する事例は、世界各地で見られる。そうした現実があることを、社会の概念として理解することができる。

アメリカの日系人を取り上げる三つ目の理由は、第二次世界大戦期の日本をより深く理解することができるという点にある。第二次世界大戦期には、日本やアジアの被害学習になりがちなものを、日系人を通してより幅広い視野から第二次世界大戦を理解することができるのではないだろうか。

授業では、導入に子どもの思考にずれを生じさせ、調べる意欲をもてるように、日系人部隊を取り上げる。アメリカ国旗を持った東洋人の存在と功績に疑問をもてるようにし、その理由を探る中で、どのような戦争が行われていったのか理解したい。また、戦争中に日系人に行われた強制収容の事実から、戦争が全体主義を助長させたり、社会のマイノリティーを差別したりする国家の問題点について理解する。この社会的な困難や精神的苦痛にアメリカの日系人がどのような行動をとるか学習することで、国にどのように関わり、社会でどう生きるか考えるようにする。さらに、日系アメリカ人の苦悩に共感しながらも、日本の国民の国や戦争との関わり方の共通点や相違点を考えることで、戦争が多くの人を巻き込み不幸にしていくことや、何のために戦うのか、国は人々にとってどんな存在か問うていきたい。

## 5 単元の目標

- 日中戦争、我が国に関わる第二次世界大戦、その頃の国民生活とそれらに関わる代表的な文化遺産を通して、我が国が戦時体制に移行して、敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな損害を与えたことがわかるとともに、それらに関わる代表的な文化遺産の意味を考えるようにする。
- 日中戦争、我が国に関わる第二次世界大戦、その頃の国民生活とそれらに関わる代表的な文化遺産から学習問題を見だし、文化財、地図や年表、その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに、我が国が戦時体制に移行して、敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな損害を与えたことやそれらに関わる代表的な文化遺産の意味について思考・判断したことを適切に表現する。

## 6 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
① 日中戦争、我が国に関わる第二次世界大戦、その頃の国民生活とそれらに関わる代表的な文化遺産に関心をもち、意欲的に調べている。 ② 異なる考え方を持つ人の中での生き方や、平和的な社会を築くための方法を考えようと	① 日中戦争、我が国に関わる第二次世界大戦、その頃の国民生活について学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。 ② 第二次世界大戦を多面的に見たり、日系人の生活と日系部隊とを関連づけたりして、歴史的な意義について考え、適	① インターネットや図書資料、年表などを活用して、日中戦争、我が国に関わる第二次世界大戦、その頃の国民生活について必要な情報を集め、読み取っている。 ② 調べたことを年表やレポートにまとめている。	① 日中戦争、我が国に関わる第二次世界大戦、その頃の国民生活について理解している。 ② 第二次世界大戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場となった地域に大きな損害を与えたことを理解している。

している。	切に表現している。		
-------	-----------	--	--

7 学習指導計画 (全 10 時間)

過程	ねらい	主な学習活動と内容	■教師の働きかけ □評価 ☆資料
社会認識を育てる場	<p>日系2世部隊の存在や活躍について知り、調べる意欲をもつ。</p>	<p>① 日系2世部隊の写真や資料から本時の学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜ、アメリカの国旗をもった日本人の兵士がいるのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日系2世部隊ができたのはなぜか。</li> <li>・なぜそこまでするのか。</li> <li>・日系人はどんな生活をしてきたのか。</li> </ul>	<p>■ アメリカ国旗のもと、東洋系の顔立ちの兵士が整列している写真を提示する。</p> <p>☆ 日系2世部隊の写真</p> <p>☆ ハワイやアメリカ本土に移住する日本人</p> <p>■ 日系人が差別を受けていたことや、日本と戦争していたことには、ここではふれない。</p> <p>☆ 日系部隊の奮戦</p> <p>□ 日系2世部隊の活躍から、その背景を調べる意欲をもつことができているか。[関①:ノート]</p>
		<p>学習問題をもとに、予想を立て、学習計画を立てることができる。</p> <p>② 学習問題に対する予想をし、必要な情報や手段など解決する方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日系人は信用されていなかったのではないか。</li> <li>・日系人に対する差別があったのではないか。</li> <li>・日本と戦争していたからではないか。</li> </ul>	<p>■ 児童の素朴な疑問を大切にしながらも、問題解決につながる情報を収集できるよう計画の修正を助言する。</p> <p>■ 特に、原爆や戦争について知識の豊富さから、当時の社会情勢を調べようとしない可能性が考えられるので、なぜ日系人だけの部隊なのかに疑問をもたせるようにする。</p> <p>□ 学習問題の解決につながる予想を立てることができるか。 [思①:ノート]</p>
ふかめる	<p>学習計画に沿って、適切な方法で調べることができる。</p> <p>調べてわかったことを整理し、まとめることができる。</p> <p>当時の日本が戦争を始め、戦線を拡大していたことがわかる。</p>	<p>③ インターネットや図書資料を使って、グループで分担して必要な情報を収集する。</p> <p>④ 収集した資料を、学習問題の解決を意識しながらグループで協力して整理する。</p> <p>⑤ 当時の日本を取り巻く状況を調べたことをもとに発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜ日本とアメリカは戦争をしたのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中戦争を行っていた。</li> <li>・東南アジアへ戦線を拡大。</li> <li>・真珠湾を奇襲。</li> <li>・第二次世界大戦。</li> </ul>	<p>□ 学習計画に沿って、適切な資料を収集することができるか。 [技①:ワークシート]</p> <p>□ 収集した資料を学習問題の解決を意識しながら整理することができるか。 [技②:ワークシート]</p> <p>□ 日中戦争から太平洋戦争の様相と至るまでの背景について理解することができるか。 [理①:ノート]</p> <p>■ 日本とアメリカの戦争だけでなく、太平洋戦争に至るまでの経過を含めて、当時の状況を把握する。</p> <p>■ ドイツやイタリアなど当時の世界の状況についても把握し、全世界的な大戦であったことをつかめるようにする。</p> <p>■ 日本によるアジア各国への戦争の影響につ</p>

社会認識を育てる場	ふかめる	<p>日系人の強制収容を通して、国家による思惑と統制や全体主義の危険性について理解することができる。</p>	<p>⑥ 日系人の強制収容の様子から、厳しく管理された意図を資料から読み取るとともに、そこに内在する問題点について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厳しい管理下に置かれた</li> </ul>	<p>いてふれておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 強制収容所の外観</li> <li>☆ 強制収容所の写真（生活の様子）</li> <li>☆ 強制収容所での生活</li> <li>□ 強制収容を通して、権力による統制や全体主義の危険性を理解することができるか。</li> </ul> <p>[理②：ノート]</p>
		<p>なぜ、アメリカ政府は日系人を強制収容したのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本と戦争を行っているので、日系人に対する警戒心が強かった。</li> <li>・ 国にも、人々にも差別意識があった。</li> <li>・ 国によって個人の権利が奪われることがある。</li> <li>・ 治安維持法とそっくりだ。</li> <li>・ 国民は意見を言えなくなつて悪い方向へ向かう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当時の日系人は、差別的な扱いを受け、物理的にも精神的にもつらい環境にあったことを確認する。</li> <li>☆ 強制収容の背景</li> <li>■ 同じ敵国出身のドイツ系、イタリア系住民には行われなかったことを示す。</li> <li>■ 「日系人に罪があったのだろうか」「なぜ強制収容にまで至ったのだろうか」と問いかけ、戦時下において、全体主義やステレオタイプが助長される危険性について説明する。</li> <li>■ 強制収容下でも、自分の生活を豊かにするために工夫した生活をおくっていたことを確認する。</li> </ul>
<p>様々な事情を抱えていた日系人の選択から、苦しい状況に向き合い総合的に考えて行動することの大切さに気付く。</p>	<p>⑦ 日系人部隊員の手記や記事を読み取り、前時の学習と結び付けて思いをつかむ。</p>	<p>なぜ、日系2世は兵士になったのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 日系人部隊に参加した人々の思い</li> <li>■ 高い死傷率や勲章の数など激しい戦い方から、彼らがめざしたことを考えるようにする。</li> <li>■ 日本的な考え方が、2世が兵士に志願する要素になったことを確認する。</li> <li>■ 意欲的に兵士になった人々にも心の葛藤があったことを確認する。</li> <li>■ ハワイと本土では、環境が異なっていたことやそれが兵士の募集に影響したこともおさえる。</li> <li>■ 悩んだ末に、兵士に志願しなかった人々も多くいたことも補足しておく。</li> <li>□ 資料から周囲の状況と日系人部隊の人々の思いを結び付けて考えることのできているか。</li> </ul> <p>[思②：ノート・発言]</p>	

社会認識を育てる場	ふかめる	戦争中のくらしの様子と人々の思いを結びつけて理解することができる。	<p>⑧ 戦争が人々のくらしにどんな影響を与えたかについて調べ、第二次世界大戦中の人々の思いを考える。</p> <p style="text-align: center;">日本の人々は、どのような思いで生活していたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天皇陛下や国のために戦った。</li> <li>・政府が情報を制限していたので戦争をよいことだと信じていた。</li> <li>・戦争について話したり意見したりすることが許されなかったから我慢していた。</li> <li>・戦争は家族の幸せを奪う。</li> </ul>	<p>□ 戦争と戦争中のくらしの様子、また、くらしの様子と人々の思いを結び付けて考えることができるか。 [理②：ノート・発言]</p> <p>☆ 日本人兵士や家族の思い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当時のくらしぶりだけでなく、人々の思いについて、手記などをもとに考えるようにする。</li> <li>■ 日本にも様々な立場の人がいたことが分かるように複数の資料を用意し、兵士や家族など分けて考え日系人の思いと比較する。</li> <li>■ 日系アメリカ人の兄弟や家族がいた人々の資料を取り上げ、戦争が家族を引きさいたり、不幸にしたりした事実をつかめるようにする。</li> <li>■ 情報を与えられなかったり、黙って耐えたりした日本人を単純に批判することがないように、当時の社会の状況をふまえて、考えるようにする。</li> </ul>
		戦争が終結していく様子や戦争後の日系人の思いについて理解する。	<p>⑨ 戦争がどのように終結していったか調べる。</p> <p style="text-align: center;">戦争はどのように終結し、どのような結果をもたらしたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦、空襲、原爆投下</li> <li>・ポツダム宣言</li> <li>・韓国、中国の解放</li> <li>・強制収容から解放される。</li> <li>・戦争で忠誠心を示したことで、日系人への見方が変わるはずだ。</li> <li>・祖国と戦わなくてよい。</li> </ul>	<p>□ 終戦にいたる経過及び、その結果周囲の国々や日系人たちにどのような影響を与えたか理解することができるか。 [理①：発言・ノート]</p> <p>☆ 日系人の終戦</p> <p>☆ 日本人の終戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 戦争終結の過程と結果だけではなく、どのような人々の思いがあったか考えるようにする。</li> </ul>
実践的な力を育てる場	いかす	人々の思いや行動から、戦争について整理し社会への関わり方について自分なりの考えをもつ。	<p>⑩ 日系人と日本人の戦争中の社会環境や思いを比較し、相違点や共通点を考える。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは国とどのようにつながったらよいのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国は、その人に幸せを与えなければいけない。</li> <li>・幸せを与えてくれるところが、故郷になるのではないか。</li> <li>・政府に都合の良い国になってはいけない。</li> <li>・私たちは、よりよい国になるように働きかけていかなくてはならない。</li> <li>・自由に意見を言えることや</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ノートやワークシートなどこれまでの学習を振り返るように促す。</li> <li>■ 表に整理して、社会の状況を意識しながら、人々の思いや行動を比較できるようにする。</li> <li>■ 戦争の影響、何のために戦ったのかをまとめていく。</li> <li>■ 「人々に苦難を強いたのは、誰だろうか」と問い、国の存在に目を向けるようにする。</li> <li>■ 日系人・日本人にとって、「国」はどのような存在であったか問いかけ、幸せを奪うものであったことを考えるようにする。</li> <li>■ 「国はどのようにあるべきか」考えるように</li> </ul>

		異なる考えの人を理解することは大切。 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の行動が世の中に影響を与えるかもしれないから、自分の意見をもったり、選択したりする。</li> <li>戦争は人々の幸せを犠牲にするので、戦争以外の方法で社会に働きかける方法が必要だと思う。</li> </ul>	問いかける。 <b>■</b> 自分なりの考えの根拠について、先の表などをもとに、学習した人々の事例を示しながらまとめるように促す。 <input type="checkbox"/> 戦争中の人々の思いや行動をもとに、自分なりの社会への関わり方について考えることができるか。 [関②:ノート]
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 8 本時の目標

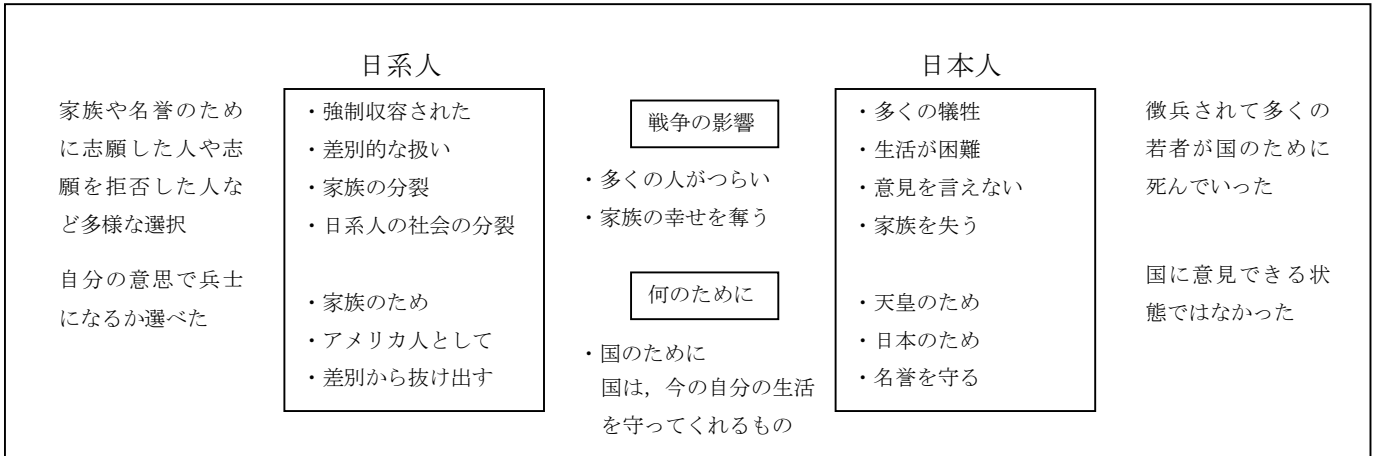
戦争中の日系人や日本人の思いや行動から、国の在り方を考えたり、国や社会へ働きかけたりすることによって、自分や家族を守り、よりよい社会を築くための方法を考えようとしている。

## 9 学習展開

学 習 活 動	<b>■</b> 教師の働きかけ <input type="checkbox"/> 評価    ☆準備物
1 日系人と日本人に分けて、表にまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>戦争の影響</li> <li>何のために戦ったのか</li> </ul> 2 人は何のために生きているのか考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の人生だから、自分のために生きたい。</li> <li>大きなまとまりを作って国のために生きるべきだ。</li> <li>国は個人を無下にするから、家族のために生きる。</li> </ul>	<b>■</b> ノートやワークシートなどこれまでの学習を振り返るように促す。 ☆ ワークシート
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">わたしたちは、国とどのように繋がったらよいのだろうか</div>	
3 日系人と日本人が国のために戦うことで共通していた点に注目し、人々にとっての国の存在について考える。 <必要だ> <ul style="list-style-type: none"> <li>国がないと、外国からの侵略に対抗できない。</li> <li>国がお金を集めて、道路や橋を造っている。</li> </ul> <必要ない> <ul style="list-style-type: none"> <li>国は自分たちに何か返してくれるわけではない。</li> <li>国同士では、戦争に発展してしまったり、うまく解決できなかったりしている。</li> </ul> ⇒・国は、その人に幸せを与えなければいけない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>幸せを与えてくれるところが、故郷になるのではないか。</li> <li>政府に都合の良い国になってはいけない。</li> </ul>	<b>■</b> 日系人にも日本人にもある「国のために戦った」という点に注目する。 <b>■</b> 「国のために生きることは必要か」「国とはどういうものを指すのか」と問いかけて、国の存在意義や国の定義について考えるようにする。 <b>■</b> 国を守ることが家族を守ることに繋がることや、国が自分や家族を不幸せにすることもあることを確認する。 <b>■</b> 「国はどのようにあるべきなのだろうか」と問いかけて、国の在り方につなげるようにする。
4 日系人と日本人の相違点に注目し、個人のよい人生をまっとうしながら、よりよい国や社会へしていくために大切なこと関わり方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>私たちは、よりよい国になるように働きかけていかななくてはいけない。</li> <li>自由に意見を言えることや異なる考えの人を理解することは大切。</li> </ul>	<b>■</b> 活動3で考えた国にしていくために、本時の課題をもう一度示し、主体的に関わることの大切さを日系人の行動から考えるようにする。 <input type="checkbox"/> 戦争中の人々の思いや行動をもとに、自分なりの社会への関わり方について考えることができるか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の行動が世の中に影響を与えるかもしれないから、自分の意見をもったり、選択したりする。</li> <li>・戦争は人々の幸せを犠牲にするので、戦争以外の方法で社会に働きかける方法が必要だと思う。</li> </ul>	<p>[関②：ノート]</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

○ 板書計画



10 参考資料（出典）

- 岡部牧夫『日本史リブレット 56「海を渡った日本人」』山川出版社，2002年
- 川上隆史（編著）『大学的ひろしまガイド—こだわりの歩き方』昭和堂，2012年
- 川崎壽『HAWAII—ハワイもう一つの発見—』ハワイ移民史料館仁保島村，2000年
- 岸田裕之『広島県の歴史』山川出版社，1999年
- 中国新聞「移民」取材班『移民～中国新聞創刊100周年記念企画～』中国新聞社，1992年
- デルフィン・ヒラスナ『尊厳の芸術—強制収容所で紡がれた日本の心—』NHK出版，2013年
- 仁保島村社会科研究会『ハワイ移民史第1章その源流を探る』ハワイ移民史料館仁保島村，2008年
- 森茂岳雄・中山京子『日系移民学習の理論と実践—グローバル教育と多文化教育をつなぐ—』明石書店，2008年